

中国における「池田思想」研究の動向（17）

高橋 強・堀口 真吾

1. 池田思想研究の学術シンポジウム等

(1) 「池田大作教育思想研究と実践」学術シンポジウム

2020年11月18日午後、大連中日教育文化交流協会は、遼寧師範大学「池田大作平和文化研究所」、大連工業大学「池田大作思想研究所」、大連芸術学院「池田大作教育思想研究所」、大連外国語大学「池田大作研究所」、大連海事大学マルクス主義学院「池田大作研究センター」、長春師範大学「池田大作文化研究所」と共に、主として『創価教育学体系』発刊90周年を記念して、オンライン方式で上記学術シンポジウムを開催した。

同シンポジウムには、上記機関、大学の他に大連理工大学、大連交通大学等の大学の教員や学生及び大連東北研究会の代表約100名が参加した。なお発表論文は7本であった。本シンポジウムでは基調報告は行われなかったが、趙重平上記協会会長のメッセージはそれに相当するものと考えられるので、以下その内容を簡単に紹介する。

1930年11月18日、創価学会創始者の牧口常三郎は『創価教育学体系』を出版し、「人格の価値を形成するため」、「子どもの幸福のため」を目的とした教育理念を確立し、創価学会の前身である「創価教育学会」を創立した。創価学会は中日友好と世界平和に尽力する日本最大の民間団体であり、第二次世界大戦時には日本の軍国主義と戦った輝かしい歴史を築いた。戦後、創価学会第三代会長として創価教育学を継承した池田大作氏は、著名な哲学者、教育者、社会活動家として、この60年間、世界を舞台に人類の平和、教育、文化活動のために尽力した。池田氏の卓越した思想理念、偉大な人格、傑出した貢献は研究するに値する。池田氏が創価大学の入学式で述べた内容は印象深い。「哲学はギリシャ語でフィロソフィアと言い、智慧を愛することという意味があります。浅はかな快樂でもないし貪欲な金銭でもない。儂い名声でもない。傲慢な権力でもない。智慧を愛し、真理を求めていく、この学びが哲学です。そしてその最も誇り高き哲学者が集いあう探求の対話の広場、それが大学である」。この言葉は、大学の本質を表現し、また教育のあるべき姿を表している。

Tsuyoshi Takahashi（創価大学文学部教授）

Shingo Horiguchi（池田大作記念創価教育研究所）

以下、「会議日程」に基づき、発表論文のテーマを紹介する（以下敬称略）。

洪剛「池田大作の国際理解教育思想と世界市民教育」（大連海事大学）

崔学森「池田大作教育思想と教育制度の独創的見解」（大連外国語大学）

潘紅艷「池田大作の人を本とした教育思想」（大連芸術学院）

張曉剛「池田大作国際平和思想と中国伝統の和合思想との異同」（長春師範大学）

暴景昇「知恵及び人格の訓練と教育の目標」（遼寧師範大学）

高橋強「創価教育思想の継承と発展——牧口常三郎から戸田城聖、池田大作」（創価大学）

劉愛君「中国の大学における池田大作教育思想の実践と示唆」（大連工業大学）

（2）廈門大学で研究会

2020年6月9日、廈門大学「池田大作思想研究センター」が、池田思想研究者による研究会を同大学で開催した。同大学人文学院の黄順力教授、外文学院副院長の呉光輝教授をはじめ、章舜欽副教授、李猛副教授、賈凱副教授、李建助理教授らが参加した。研究会では、創価大学やアメリカ創価大学の卒業式に池田が寄せたメッセージの意義について意見交換を行い、新型コロナウイルスによる危機が広がっている状況を踏まえて、池田の平和観、共生観などについて議論した。また、開設以来の研究や読書交流などの諸活動について報告されたほか、今後の研究者の育成などについても検討した。

（3）東北師範大学で名誉博士号授与 20 周年の記念講演会

2020年8月29日、東北師範大学と創価大学の友好交流特別記念講演会が、池田大作に対する「名誉博士号」授与 20 周年を記念してオンラインで開催された。これには東北師範大学の史寧中元学長、韓東育副学長らが出席し、池田はメッセージを贈り、「従藍而青」の精神で未来を担いゆく両国の青年たちに尽くしていきたいと述べた。

韓副学長は、中日友好の歩みをたどる時、池田氏が果たした功績の大きさは顕著であると述べ、とりわけ周恩来総理と池田氏の信念は、その貴重な思想的資源であると強調した。

史元学長は、研究のために訪れた日本で、中日と世界の平和に果たした池田氏の事績と哲学を知り、深い感銘を受けたと紹介した。とりわけ、英国の歴史学者トインビー博士と池田氏の対話は、21 世紀の社会にも深い示唆を与えていると言及し、学長として名誉博士号を授与できたことは、自身と大学にとって大きな誇りであると語った。

（4）蘇州大学で池田思想学習会

2020年10月18日、蘇州大学で池田大作思想の学習会が開かれ、同大学の教職員や学生のほか、復旦大学国際経営技術研究所の朱順華所長らが参加した。蘇州大学の創立 120 周年記念の取り組みの一環として行われたものである。学習会では、朱順華所長が「中日国交正常化提言」の発表

や周恩来総理との会見など、両国に友誼の「金の橋」を架けてきた池田の足跡を紹介した。不断の努力で道なき道を切り開いた先人たちの思いを受け継いでいこうと呼び掛けた。また、池田思想に基づくグローバル経済の在り方なども議論した。

(5) 南開大学が学術会議を主催

2021年1月2日、南開大学マルクス主義学院が、「文明の融合」と「青年の国際的視野の育成」をテーマに掲げた学術会議を、日中の各地をオンラインで結んで開催し、北京大学や創価大学をはじめ、両国の大学の教員・学生らが参加した。創価大学教職大学院の長島明純教授、同大学の董芳勝准教授が、山積する社会的課題の解決は、人類の未来を担う青年の双肩にかかっていると強調した。南開大学「周恩来・池田大作研究会」の指導教師である陳永剛氏は、両国の青年が“他者との関わり合いの中に自己が存在する”との思いを抱き、正しい歴史認識に基づいて、交流の歩みを進めてほしいと語った。会議を主催した同大学の紀重光教授は、周恩来総理と池田大作が貫いた平和友好の精神を紹介しつつ、グローバルな視野を持った人材の重要性を力説し、青年が先頭に立って、世界の繁栄・発展のために尽力してほしいと呼び掛けた。

(6) その他（学部生、院生等のシンポジウム）

① 2020年5月30日、仲愷農業工程学院の学生団体「廖承志・池田大作研究会」が、池田大作の初訪中46周年、同研究会設立5周年を記念する会議をオンラインで開催した。

研究会の顧問を務める同学院の高岳侖元党委副書記は、池田氏が初訪中の折、訪れた先々で友情を結んだエピソードを紹介し、改めて池田氏の精神に学び、世代を超えた中日両国人民の友好に尽力していきたいと語った。

同研究会顧問の蔡瑞燕教授は、池田氏が歴史家のトインビー博士ら世界の知性と交わしてきた対話に言及した。東洋思想の豊かな知恵を発揮し、人類の文化発展に貢献していくためにも、池田思想に学んでいきたいと述べた。

同研究会学術部の林紀韜氏は、コロナ禍で創価学会や創価大学が実施した中国支援に触れつつ、こうした民間交流が、中日両国が手を携えて難局を乗り越えていく原動力になることを祈りながら、友好往来の新しいページをつづっていかうと呼び掛けた。

② 2020年12月5日、仲愷農業工程学院の学生団体「廖承志・池田大作研究会」が、周恩来総理と池田大作の会見46周年を記念する集いを同学院で開催した。学生代表らが会見の経緯や意義を紹介し、同学院「廖承志・池田大作研究センター」の高岳侖主任が、人間主義の思想に基づき、国際関係を協調の方向に導いてきた池田氏の行動を高く評価する講演を行った。

2. 新設の池田大作研究機関

貴州民族大学外国語学院池田大作王蒙研究センター（2019年10月31日設立）

主 任 李海

設立理由 池田大作平和思想、及び王蒙の古典文学作品の翻訳、及び少数民族の文学作品翻訳研究成果をもって、日中文化に深い交流と幅広い協力を実現し、池田大作と王蒙研究の発展を推進する

3. 池田研究の成果等

（1）各種学術シンポジウムで発表された池田研究の論文

第1回「東アジアの平和と人類運命共同体構築」学術シンポジウム（2020年12月19日、20日、主催者・長春師範大学、中国日本史学会、中外文化交流史学会、運営者・長春師範大学池田大作文化研究所、東北師範大学日本研究所、吉林外国語大学東方語学院）において以下の論文が発表された。（以下発表順）

瀬野清水「池田大作の思想と行動」（成渝日本経済文化交流学会）

井上智樹「創価大学に関する幾つかの回顧」（大連工業大学客員研究員）

浅井治「『池田思想』と『人類運命共同体』」（大連外国語大学客員教授）

叢暁波「池田先生と中国との交流及びその文化的サポート」（創価大学）

崔学森「池田大作平和思想の内涵及び淵源」（大連外国語大学）

浅井康子「『福祉教育』の実践からみた『創価教育』の先見性」（大連外国語大学客員教授）

（2）書籍、掲載論文

① 温憲元『「平和・分享・行動—2017 池田大作思想研究会文集—』（華南理工大学出版社 2020年4月）が発刊された。

② 高岳倫主編『新時代の中日友好に向かって—2019年廖承志と池田大作思想学術シンポジウム論文集』（時代出版伝媒股份公司 安徽人民出版社 2020年12月）が発刊された。

③ 叢暁波「池田大作の幸福思想におけるいくつかの支点（支えとなる点）—幸福の本質を兼ねて」が『現代哲学（現代哲学）』第172号9月号に掲載された。